

<JIA 建築家大会 2024 別府、マンスリーオンライン企画>

「銭湯で人をつなぐ活動／別府のまちづくり ／地域を活かす建築家のファシリテーション」

建築まちづくりにおいて大切なことは地域特徴を活かすことです。別府の特徴は、何と言っても温泉でしょう。温泉は地域の人のみならず訪問者をつなぐこととなります。住民参加のまちづくりの実践では、地域の特徴として、たから(良い点)とあら(課題や問題点)を検討し、街の方向性を見つけ出すことがポイントですが、そこに関わる建築家には適切なファシリテーションが求められます。

そこで、銭湯で人をつなぐ活動をされている栗生はるか氏をお招きしてお話しいただき、別府市建設部施設整備課の籠田真一郎氏に別府のまちづくりについてご説明いただき、それらを手掛かりに、住民参加のまちづくりにおける地域を活かす建築家のファシリテーションについて考えてみたいと思います。

●10月11日(金)18:00~20:00

●ZOOM ウェビナー方式

<https://us02web.zoom.us/j/82866640968?pwd=MjskH0Zno3mhbth9RSTHdNQqFaOcYK.1>

ミーティング ID: 828 6664 0968

パスコード: 778361



栗生 はるか(くりゅう はるか)

一般社団法人せんとうとまち代表理事、文京建築会ユース代表

早稲田大学・大学院で建築を学び、ヴェネツィアへ留学。(株)NHK アートを経て、大学で建築教育に携わる。法政大学、慶應義塾大学 SFC 非常勤講師。法政大学 江戸東京研究センター客員研究員として、都市空間とコミュニティについて研究。地域の魅力を様々な角度から発信すると共に、銭湯と周辺地域の再生活動を展開している。空家を活用した地域サロン等も運営中。

- ・挨拶:松島逸人(JIA まちづくり会議 議長) 進行:松村哲志(建築まちづくり委員会 委員長)
- ・「銭湯で人をつなぐ」栗生はるか(せんとうまち 代表理事)
- ・「別府のまちづくり」籠田真一郎(別府市建設部施設整備課 課長)
- ・「まちづくりファシリテーターとは何か」連健夫(日本建築まちづくり適正支援機構 代表理事)
- ・鼎談 質疑応答
- ・まとめ

●主催:JIA まちづくり会議、建築まちづくり委員会、 ●協力:JCAABE 日本建築まちづくり適正支援機構